総務文教常任委員会記録

平成30年9月3日

【開催日】 平成30年9月3日

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午前9時～午前10時

【出席委員】

委員長	河野朋子	副委員長	伊場勇
委員	笹木慶之	委員	高松秀樹
委員	長谷川知司	委員	宮本政志
委員	森山喜久		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰	副議長	矢田松夫
----	-----	-----	------

【執行部出席者】

副市長	古川博三	総務部長	芳司修重
税務課長	石田恵子	税務課課長補佐	伊與木登
税務課市民税係主任	山口大造	税務課固定資産税係長	藤澤竜

【事務局出席者】

事務局長	中村聡	議事係長	中村潤之介
------	-----	------	-------

【審査内容】

- 1 議案第74号 山陽小野田市税条例等の一部を改正する条例の制定について (税務)
- 2 議案第75号 山陽小野田市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について (税務)
- 3 議案第76号 重複地番解消のための山地番の変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について (税務)
- 4 議案第85号 埴生小・中学校整備事業（児童棟新築 建築主体・付帯工事）請負契約の締結について (教育総務)

河野朋子委員長 ただいまから総務文教常任委員会を開会いたします。それでは審査内容の1番、議案第74号について審査いたします。執行部の説明をお願いします。

石田税務課長 それでは税務課から、議案第74号の山陽小野田市税条例の一部を改正する条例の制定について、概要を御説明いたします。今回の改正は、地方税法の一部を改正する法律が平成30年3月31日に公布されたことに伴い、所要の改正を行うものであります。なお、このうちの一部については、施行日の関係から、5月市議会臨時会及び6月市議会定例会において御承認を頂いており、今回は10月1日以降、順次施行される内容についての改正であります。お手元に参考資料として「山陽小野田市税条例の一部を改正する条例の制定についての概要」をお配りしておりますので、これに沿って御説明いたします。今回の条例改正の主な内容としては、大きく三つに分けられます。まず一つ目は市民税関係ですが、平成33年1月1日から、働き方の多様化を踏まえ、様々な形で働く人を応援し「働き方改革」を後押しする観点から、特定の収入のみに適用される給与所得控除や公的年金等控除から、どのような所得にも適用される基礎控除に、負担調整の比重を移していくことが必要であるという考え方の下、給与所得控除・公的年金等控除を10万円引き下げるとともに、基礎控除を同額引き上げ、現行の非課税判定に影響しないよう、控除の振替を行います。また、合計所得金額が2,400万円を超える納税義務者に係る基礎控除については、控除額が逡減・消失する仕組みが設けられました。このことに伴い、個人の市民税における調整控除について、前年の合計所得金額が2,500万円を超える所得割の納税義務者には調整控除を適用しないこととされました。さらに、地方税の電子化が進む中、国税と同様に、資本金1億円超えの法人等に対し、平成32年4月1日以後に開始する事業年度に係る法人市民税の申告手続の電子化が義務付けられました。次に二つ目として、市たばこ

税に係る大幅な改正が順次施行されます。まず、国と地方のたばこ税の配分比率1対1を維持した上で、平成30年10月1日から3段階でたばこ税率が引き上げられます。具体的には、地方分として1本あたり0.5円ずつ上がり、3段階で計1.5円上がります。次に、近年急速に市場が拡大している加熱式たばこについては、喫煙用の製造たばこの区分として、新たに「加熱式たばこ」の区分が創設されました。これは、現在、加熱式たばこは「パイプたばこ」に分類されており、製品重量1グラムを紙巻たばこ1本に換算して課税されていますが、製品重量が軽いことから紙巻たばこに比べて税負担が低く、また、加熱式たばこ間でも製品重量に差があることから、税負担が大きく異なっているなど、課税の公平性の観点から課題となっており、今後、紙巻たばこから加熱式たばこへの切替えが更に進めば、税負担格差に比例してたばこ税収も大きく減少するため、財政面からも早急な対応が必要であると考えられたことによります。また、現在、加熱式たばこには「直接加熱方式」と「間接加熱方式」のものがあり、「間接加熱方式」の加熱式たばこについては、現行の課税方式では「溶液」の重量が税額計算に反映されないため、商品によって税制上の取扱いが異なっているため、今回の改正により、加熱式たばこに係る税制上の取扱いを商品間で統一するため、製造たばこから分離された「溶液」部分についても、製造たばことみなして課税されるようになりました。さらに、紙巻たばこの本数への換算方法が見直され、現在、紙巻たばこ以外の製造たばこは、「重量」をもって紙巻たばこの本数に換算することとされていますが、加熱式たばこに係る紙巻たばこの本数への換算方法については「重量」と「価格」を紙巻たばこの本数に換算する方式に変更されます。具体的には、「重量」については、加熱式たばこの重量0.4グラムをもって、紙巻たばこの0.5本に換算し、換算に用いる加熱式たばこの重量には「フィルターその他の一定の物品の重量を含まない」ものとし、また、「価格」については、加熱式たばこの小売価格に相当する金額——これは税抜きになりますが——紙巻たばこの1本の金額に相当する金額——現状約20円となっております——をもって、紙巻たばこの0.5本に換算します。この

ような加熱式たばこの課税方式の見直しについては、急激な税負担の変化が及ぼす企業や消費者等への影響にも一定の配慮を払う趣旨から、現行の換算方式から改正後の換算方式へ5段階に分けて移行することになります。最後の三つ目として、固定資産税における「地域決定型地方税制特例措置——いわゆるわがまち特例になります——これの所要の改正になります。まず、既に規定しております「汚水又は廃液処理施設に係る固定資産税」「雨水貯留浸透施設に係る固定資産税」の特例割合はそれぞれ、現行3分の1、3分の2としておりますが、今回の改正で参酌基準のほか割合の範囲も変更となったため、それぞれ2分の1、4分の3の特例割合に改正いたします。また、新たに設けられた「津波防災地域づくりに関する法律に規定する指定避難施設の用に供する家屋のうち避難用部分に係る固定資産税」の特例割合については、3分の2を参酌基準として2分の1以上6分の5以下の範囲内で決定できることを受け、この特例割合を3分の2と設定し、「指定避難用施設に附属する避難の用に供する償却資産」については、3分の2を参酌基準として2分の1以上6分の5以下の範囲内で決定できることを受け、この特例割合を3分の2と設定いたしました。次に、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に規定する一定の発電設備に係る固定資産税については、現在、①太陽光、②風力、③水力、④地熱、⑤バイオマスの五つの発電設備についてそれぞれ特例割合が設けられておりますが、今回の改正により、五つの自然エネルギーが発電する電力の出力に応じて細分化されたため、それぞれの項目に応じて特例割合を設定しております。以上で説明を終わります。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

河野朋子委員長 執行部の説明が終わりましたので、これより質疑を受けます。
質疑はありますか。

笹木慶之委員 今、るる説明がありましたが、結論的にはそのことが今後の税額、市の歳入となる税額にどのように影響してくるのか。細かいところ

は別として、現時点での数値を基にして置き換えるのならどのくらい増えるのかについてお尋ねします。

石田税務課長 税条例の改正につきまして、大きく三つありますということで御説明を差し上げました。まず一点目の市民税関係についてですが、当市の影響を考えましたところ、調整控除の改正に伴いまして、ほぼ影響はありません。次に、たばこの増税に関して、まず、3段階、5段階に分けて改正が行われますので、具体的な数字というのはなかなか算出づらいところがありますが、昨年度、JTが出している数字になるんですけれども、製造たばこ、紙巻きたばこから加熱式たばこへの移行が大体、去年の末で2割程度というふうに試算されております。当然全国的に見て2割、加熱式たばこに移行しているということであれば、当市においてもそれぐらいの影響はあるとは思いますが、これが順次改正で増税されていきますので、現在、加熱式たばこに移行することで減っている税額は、税が増税されることによって、そこは穴埋めされていくものと思われまます。最後にわがまち特例についてですが、今回の改正について、当市に適用があるものはありません。先ほど、津波防災地域づくりに関する法律でいろいろ指定避難施設の用に関する家屋等の特例割合が設けられましたということで御説明差し上げましたが、これについては当市にその適用がございませんので、この影響はありません。最後の再生可能エネルギーの電気について、五つの発電設備について、細分化されたということで御説明差し上げましたが、これについても当市については適用がございませんので影響額等はないということです。

笹木慶之委員 二つほどお尋ねします。まず一つはたばこの関係ですが、たばこが3か年にわたって0.5ずつ地方割合が増えるということですが、その影響の説明がありませんでした。これは確実に増えるということですよ。もう一点は結果的にそうなるのかもしれませんが、給与所得控除と公的年金控除が10万円引き下げられて、基礎控除が10万円上がるということ。これは算定上、影響はないですか。あると思うんですけ

どね。違いますか。

石田税務課長 これについては市民税系のほうにも確認をいたしました。10万円を引き上げて、また基礎控除から10万円上げるということになりますので、影響としてはないと確認をしております。

笹木慶之委員 たばこはどうですか。

石田税務課長 たばこにつきましては、紙巻たばこが0.5円ずつ、計3段階で1.5円上がります。これの影響については0.5円上がることで、その分増えると思うのですが、ちょっとその試算は申し訳ありませんがしておりません。ただ、たばこ税に関しまして、平成28年度、29年度、数字を確認しましたところ、前年と比べまして2,800万円弱、たばこ税が落ちております。先ほど加熱たばこへの移行が2割程度と申し上げましたが、加熱式たばこの税額が加熱式たばこの種類によって税額が全く異なっております。例えば、銘柄を言っていないのかどうか分かりませんが、アイコスに関しては、たばこ税が約192円になりますが、ブルームテックになりますと、たばこ税は34円程度になっております。このぐらいの差がありますので、当市のこのたばこ税の減額がどういう影響が出るのかを調べてみました。平成28年度、本市の紙巻きたばこの課税標準の本数が約8,700万あります。これが1箱20本ですので、1箱に換算いたしますと約430万箱になるんですが、紙巻きたばこが1箱440円といたしまして、そのうちの市に入る税金が約105円になります。これが、仮に、アイコス2割程度が移行したと計算しますと、紙巻きたばこであれば市税が105円入ってくるんですが、アイコスになると81円程度しか入ってきませんで、その差額が約23円になるんですけれど、それを先ほどの箱数に換算すると約マイナスとして2,000万円程度になります。2割加熱式たばこに移行された方が全てアイコスではないというふうに考えますと、当然、それからプラスされますので、平成28年度、29年度のたばこ税の差額、2,800万

円程度というのは、今のところやはりこの加熱式たばこへの移行の影響かなと分析しております。

笹木慶之委員 もう一点。先ほど税に影響がないと、市民税の関係ですが。ただ、単純に考えて、この表にあるとおり、均等割で、いわゆる所得金額は28万円以下という非課税の額が38万円に上がった。それから、もう一つ、今度は所得割のほうで、所得金額合計35万円以下が45万円に上がった。上がったということは、今度は配偶者控除の額も変わってくるわけですね。この辺りの動きというのは影響があるから変えたわけで、それに対して全くないというのはどうなのかという気がしますが、細かい数字はいいです。私が申し上げておるのは、やはり、地方自治体の貴重な唯一の財源である税収が基ですから、やはり税務課はその辺りを早く情報をつかんで的確な数値を財政に上げながら、財政計画を立ててほしいと思うわけで、だから聞いているわけですが、だから、今回の税制改正は、平成33年の部分まで先取りして出しているわけですね。だから、やはり地方財政に反映させるべき係数を早くつかんで対応してほしいということを最後に申し上げておきます。

河野朋子委員長 意見ということでもいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）ほかに質疑はありますか。よろしいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）質疑を打ち切ります。討論はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）討論なしということで、本議案について採決をいたします。本議案に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

河野朋子委員長 全員賛成で本議案は可決すべきものと決しました。続きまして、2番の議案第75号について説明をお願いします。

石田税務課長 それでは、税務課から議案第75号の山陽小野田市都市計画税

条例の一部改正に関する条例の制定について、概要を御説明いたします。今回の改正理由は、先ほど御説明いたしました山陽小野田市税条例の一部を改正する条例の制定に関する説明内容と同様になります。改正の内容としましては、条ずれ、項ずれ、条文の書きぶりなどの整理等を規定するものであります。以上で説明を終わります。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

河野朋子委員長 それでは質疑を受けます。質疑はよろしいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）質疑を打ち切ります。討論はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）討論もなしですね。それでは本議案について採決をします。本議案について賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

河野朋子委員長 全員賛成で本議案は可決すべきものと決しました。続きまして3番、議案第76号について説明をお願いします。

石田税務課長 それでは、税務課から議案第76号の重複地番解消のための山地番の変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について御説明いたします。本条例は、山口地方法務局において実施されております重複地番解消のための山地番の変更に伴い、当該山地番を規定している条例5本について整理を行うものであります。山口県では明治以来、宅地、農耕地等の耕地に1番から順に地番——耕地番になりますが——これが付されるとともに、山林、原野等にも同様に1番から順に地番——これは山地番になります——が付されたことにより、同一大字地番区域内に重複地番が多数存在しており、山口地方法務局では、円滑で安全な不動産取引を図るため、山口県内全域で平成23年度から順次、重複地番の解消を行っております。山陽小野田市においては、平成30年11月9日に旧小野田市地域の山地番に1万番を付する方法によって重複地番を解消することから、山陽小野田市障害者支援施設条例をはじめとする5

本の条例において規定する「山陽小野田市内に存在する公共施設の位置」について、変更された地番に改正するものです。また、この条例の制定に併せて、条例内の公共施設の住所表記にある「○番地の○」の「の」の削除を行っております。以上で説明を終わります。御審議のほど、よろしく願いいたします。

河野朋子委員長 説明が終わりましたが、質疑はよろしいですか。

宮本政志委員 二点ほどお聞きします。土地の地番が変わっていた場合、法務局の昔でいう謄本ですよね、全部事項証明書などの手続は自動的に行われるのかということと、建物が存在した場合、底地の土地は地番が改正されて、上の建物の地番も改正されなかったら整合性が取れなくなるんですけれど、その二点はどういうふうになっていくんですか。

石田税務課長 まず一点目の書換えというか手続についてなんですが、これは法務局で登記官の職権による地番変更を行うと聞いております。二点目の家屋についてですが、家屋も併せて変更を行います。

宮本政志委員 何々番地の「の」ぐらいは問題ないんですけど、職権で法務局が土地も建物も両方変えるんですね。ならいいです。

河野朋子委員長 ほかに。（「なし」と呼ぶ者あり）では質疑はないということとで討論はよろしいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）討論もなしということで、本議案について採決を行います。本議案に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

河野朋子委員長 全員賛成で本議案は可決すべきものと決しました。以上で3番まで終わります。次は9時半から4番に移りたいと思いますので、職

員の入替えがありますので、よろしく申し上げます。

午前 9 時 2 6 分 休憩

午前 9 時 3 1 分 再開

河野朋子委員長 それでは、休憩前に引き続き委員会を再開いたします。審査番号 4 番。議案第 8 5 号について審査をいたします。執行部の説明をお願いいたします。

吉岡教育総務課長 議案第 8 5 号 埴生小・中学校整備事業（児童棟新築 建築主体付帯工事）請負契約の締結について御説明をいたします。これは埴生小・中学校を平成 3 2 年 4 月に開校させるため、現在の埴生中学校の敷地内に小学校の児童の教室や小学校と中学校共用の図書室や校長室職員室等を有する児童棟を建築するものです。去る 8 月 1 0 日に指名競争入札を行いましたところ、6 億 5, 7 7 2 万円をもって嶋田工業・ヘキムラ興業特定建設工事共同企業体が落札をいたしましたので、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第 2 条の規定に基づき、落札業者と請け負う工事請負の本契約を締結するため、議会の議決を求めるものであります。建物の概要を御説明いたします。議案の 2 ページを御覧ください。これは、敷地全体の見取図です。新しい児童棟は敷地のほぼ中央の斜線を引いた部分に建てます。右側に説明がありますが、工期は平成 3 2 年 1 月 3 1 日まで R C 造 3 階建て、建築面積は 1, 1 6 8. 0 5 平方メートル、延床面積は 2, 7 9 1. 9 7 平方メートルとなります。3 ページ目を御覧ください。これは 1 階の平面図で、小・中学校で共用する図書館や保健室、校長室、事務コーナー、校務センターなどを配置しております。次に、4 ページ目を御覧ください。これは 2 階の平面図で主に小学校の普通教室、特別支援教室などを配置しております。次に、5 ページ目を御覧ください。これは 3 階の平面図で

2階と同様に、主に小学校の普通教室、特別支援教室などを配置しております。最後に6ページ目を御覧ください。これは児童棟の外観イメージ図です。説明は以上です。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

河野朋子委員長 説明が終わりましたので、委員からの質疑を受けます。

伊場勇副委員長 この事業の入札が決まったということなんですけれども、詳しい仕様書、細かい内容が書かれたものと質疑書というものが出ているのか頂いているのか、というところが必要だと思うんです。理科大のときはしっかりされたと思うんですけれども、これから追加がもし出たときとか、議会として、この当初の段階から確認をしていくということが必要だと思うんですけれども。仕様書と質疑書を提出していただきたいんですけれども、いかがでしょうか。

河野朋子委員長 今、副委員長から仕様書と質疑書について、資料提出をしていただけないかということでした。

尾山教育部長 教育委員会には建築士がおりませんので、この工事については全て建設部の建築住宅課に執行委任しております。建築住宅課が所有していると思われますので、ちょっと確認をさせていただきませんか。

河野朋子委員長 その件については、すぐに確認してもらおうということで、少し休憩しましょうかね。その間。それがなくなかなか質疑が進められないということでいいんですかね。（「はい」と呼ぶ者あり）休憩をして調整をいたします。よろしくお願いいたします。取りあえず休憩いたします。

午前9時37分 休憩

河野朋子委員長 それでは休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。先ほど副委員長からありました仕様書と質疑書について、執行部のほうから説明があると思いますので、よろしく願いいたします。

尾山教育部長 この件につきましては、ちょっと、どうするかというのがすぐに結論がちょっと出せませんものですから、できましたらお時間を頂きますと大変有り難いのですが、いかがですか。

河野朋子委員長 今すぐに出すということについて結論がなかなか出しにくいというような説明がありましたので、この件について、質疑が審査を進めにくいと思いますので、一旦ここでこの件は置いておいて、明日また日程で、総務の委員会、分科会がありますので、明日に持ち越しさせていただきたいと思いますがよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、その件についてはそのようにいたしまして一旦、委員会は閉じさせていただきます。お疲れ様です。済みません。まだ委員のほうから提案があるようです。

笹木慶之委員 先ほどの件はそれはそれとして、今回の審議に関しては資料が不足しているように思います。いろいろ経緯があるとしながらも、これだけの予算を執行する中で、長いプロセスの中で審議をしていますので、皆が皆覚えておりません。ですから予算に関する執行関係の資料と、もう一点は入札の執行状況の資料の提出を求めたいと思います。よろしく願いします。

尾山教育部長 明日そろえてお出しさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

河野朋子委員長 明日になりますので、それまでに準備をよろしく願いいた

します。それではこの件については一旦持ち越して委員会を閉じたいと思います。お疲れ様です。

午前10時 散会

平成30年（2018年）9月3日

総務文教常任委員長 河野 朋子